



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

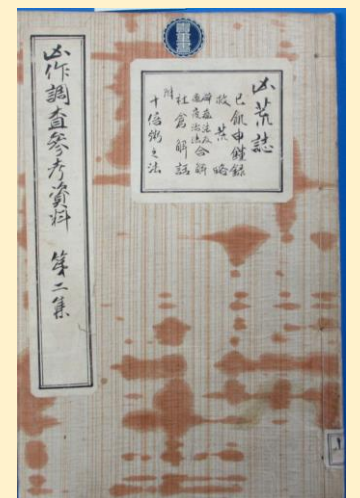
公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

生産

- 【種別】 図書
- 【資料名】 凶作調査参考資料
- 【巻次】 第一集、第二集
- 【副題】
- 【記録年】
- 【刊行年】
- 【編著者】 玉利喜造収集
- 【出版所】
- 【寸法】 縦23.5cm 横15cm (第一集) 114頁
(第二集) 106頁

【表紙】



【略説明】

盛岡高等農林学校初代校長である玉利喜造氏が収集した、江戸期の凶作に関する文献集。玉利氏は同資料の分析により論文「凶年の研究」のなかで「凶作四十年周期説」を発表している。

玉利氏が収集した文献は10集あり、第一集第1の「凶作見聞集」は宝暦7年(1757年)に記された書で、東北地方に発生した宝暦飢饉の実録。

【注記】

著者の玉利喜造氏は、盛岡高等農林学校(明治35年(1902年)創設、現岩手大学農学部)の初代校長を務め、日本で最初の農学博士号取得者。同校は東北開発の一環として創設され、東北農業振興の大役を担っていた。その課題の一つとして、東北地方を襲う常習的冷害の克服があった。同校の冷害気象研究は伝統として受け継がれ、同校に学んだ宮澤賢治の作品などにも影響を与えている。

史料を所蔵している岩手大学は、大正元年(1912年)に建築された盛岡高等農林学校本館を農業教育資料館として使用しており、館内で盛岡高等農林学校時代の史料を公開している。なお同資料館は明治後期の様式を代表する木造欧風建築物として重要文化財の指定を受けており、その佇まいからは明治期を偲ぶことができる。

- 【所蔵機関】 岩手大学農学部附属農業教育資料館/岩手大学図書館
- 【住所】 岩手県盛岡市上田3丁目18-8
- 【連絡先電話番号】 019-621-6103(農学部)
- 【所蔵URL】 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/edu/>
- 【閲覧】 常設展示(資料館・写)

開館時間 : 平日の10時~15時(4月最終土曜日~11月3日までは土日祝日も開館)

休館日 : 冬季の土日祝日、8月13日~15日、12月28日~1月4日

入館料 : 小・中学生70円、高校・大学生100円、一般140円
(個人)